

事業 優先順位		2	細事業: 広報推進事業					整理 番号		04	
目的		市政情報や本市の魅力をホームページ、パンフレット、PRビデオ、新聞報道など様々な情報メディアを通じて、市内のみならず市外にも発信することによって、市政の円滑な運営を行うとともに、より一層本市のイメージ向上を図り、定住や転入を促進する。									
目標		ホームページ、パンフレット、新聞報道など様々な情報メディアに本市の魅力を発信するとともにPRビデオ作成によって、定住促進や観光客、転入者の増加をねらう。									
事業 実施主体		直営	事業開始 年	昭和47年度以前	根拠 法令						
事業費・財源				平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数				平成24年度	比 較
	事業費 (決算額) (千円)			3,843			総コスト (千円)			10,985	
	財源内訳	一般財源		3,528			内訳	事業費		3,843	
		国府支出金		0				人件費		7,142	
		地方債		0				公債費		0	
		水道事業会計負担金		28				一人あたり (円)		97	
		広告料収入		287				世帯あたり (円)		233	
				0				職員数 (人)		0.90	
							参考	再任用職員数 (人)		0.00	
	今後の方向性		ホームページ、パンフレット、新聞報道など様々な情報メディアに本市の魅力を発信するため、限られた人員、予算の中で、見やすさや見てもらうためのアイデアや工夫を凝らしていく。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民及び市外居住者						
	A	A	B								

PRドラマ「星に願いを」～このまちでずっと暮らしたい～＜全4話＞

☆第1話



☆第2話



☆第3話



☆最終話



細事業：広報推進事業

1. ホームページによる市政情報の発信

インターネットによる情報発信を行うため、市のホームページを運営。各担当課が最新情報に随時更新した。その結果、市ホームページには年間 458,759 件のアクセスがあった。

CMS（ホームページ管理システム）賃借料 1,260,000 円

また、自主財源の確保や地元商工業者の育成・振興、市民への生活情報の提供などを目的として、平成 19 年 3 月からバナー広告を掲載している。

広告件数 14 件（3 か月単位で 1 件としている）

広告収入額 286,650 円



2. フェイスブックによる情報発信

平成 24 年 6 月から、市フェイスブックのページを立ち上げ、市の取り組みやイベントなどの行政情報を発信した。



3. 報道機関との連絡・調整

マスコミを通じて市を P R するため、報道機関に対して予算の概要をはじめ、重点施策や市議会議案の説明を行うとともに、市民の身近な話題づくりやふるさと意識の定着を促すまちの話題なども提供、連絡・調整に努めた。

4. 河内長野市 P R 映像の作成

河内長野市の定住人口の維持、転入者の促進、交流人口の増加、市のブランド価値の向上を図るため、河内長野市の魅力を分かりやすく伝える P R ドラマ「星に願いを〜このまちですずっと暮らしたい〜」を作成した。映像は 1～3 話が各話約 5 分、最終話が約 9 分で計 4 話、全部で約 25 分をホームページに掲載。貸出用 DVD ソフトを広報広聴課や図書館に配置し、動画配信サイト（You Tube）での配信や、市主催イベントなどで活用する。

市 P R 映像等作成業務委託料 1,695,750 円



5. シンボルキャラクター「モックル」の活用

市への愛着や誇りをはぐくみ、個性あるまちづくりを創造させるとともに、市のイメージを内外に伝えるため、市のシンボルのキャラクター「モックル」のさらなる活用を図るべく、立体デザインに基づき作製した着ぐるみ（2 体）を使って、イベントなどにおいて市の P R を行った。

シンボルキャラクター（モックル）メンテナンス業務委託料 120,000 円



6. お知らせ電話

休日急病診療所の案内などを留守番電話に録音。閉庁日でも聞ける 24 時間サービスの「お知らせ電話」を実施し、年間 146 件の利用があった。

7. 広報板の自治会・町会への提供

地域住民相互のコミュニケーションを図ってもらおうと広報板を作成し、要望のあった自治会などに提供した。

広報板作製委託料 256,725 円